大清水中だより

教育理念　自由と責任

教育目標　よりよく生きる力を育成する

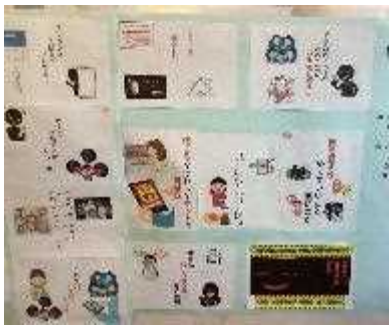
2025 年（令和 7 年）12 月 9 日発行　１２月号

藤沢市立大清水中学校　〒251-0002　藤沢市大鋸 1400　TEL　0466-50-8353　校長　山下　尚子

学校ホームページ　http://www1. fujisawa-kng. ed. jp/johsh/

朝の冷たく澄んだ空気に身が締まり、夕方は夕焼けの色に圧倒される季節となりました。ここからは、星空も楽しめるようになってきます。寒さもこれからが本番となりそうです。保護者の皆様におかれましては、進路保護者会、授業参観や八ヶ岳体験教室・横浜めぐり説明会にお運びいただきありがとうございました。お子様の成長を見られたでしょうか。また、今月は三者面談も予定しています。これまでの成長を共に確かめ、ご家庭と学校が同じ方向に歩みを進める大切な機会と捉えております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

▼技術　情報モラルを五七五（七七）で



▼イモ収穫・・・宝探しです。

▼2 年高校訪問　蔵書の多さに驚き

▼5 組　青少協クラフト

◇より良い学校づくりのために「学校評価」にご協力を

１１月１４日に「学校評価に関する調査協力のお願い」を配付しました。学校評価はより良い学校づくりのための意見募集、いわば「学校づくりアンケート」です。 本校の教育活動について、良かったことや課題などを保護者の方、 全校生徒の皆さん、 そして教職員を対象に実施します。その結果をもとに、今年行った教育活動を検証し、今後の教育活動に生かしていきます。ぜひ、回答をお願いいたします。

同日に保護者の方へ「学校評価について」の題ですぐーる配信をしています。回答URLから回答ください。アンケート回答期日は、12月10日（水）までとさせていただいております。ご協力お願いいたします。

◇全国学習状況調査結果（3 年生）

毎年4月、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力や学習状況を把握し、教育指導の改善に役立てることを目的とした学習状況調査が行われています。調査内容は今年度「教科に関する調査」（国語、数学、理科）と「質問調査」（学習習慣や学習環境など）の2種類となっています。個人の結果はすでに返却しましたので、解答状況から理解度を把握していることと思います。（藤沢市全体の状況については、藤沢市教育委員会HPをご覧ください。）

この調査は生徒の理解度を測るだけでなく、解答・回答状況からどのような学習をするのがよいか、方法や手立てなど、教員側からも考え改善していくものとなっています。本校の状況としては、国語・数学は全国平均とほぼ並ぶ正答率であり、理科も同様と捉えております。

そして、教科の状況と共に大切に考えているのが「質問調査」です。先日の進路保護者会でもお伝えしましたが、「人が困っているときに進んで助けているか」という設問に対しての肯定的な回答率が大変高く、とてもうれしく思っています。また、「自分には良いところがあると思うか」には、今までどちらかというと遠慮がちな回答でしたが、今年度は自己肯定感の向上が見られました。 自分にはいいところがある！ というところに気づき、その良さを伸ばし、今後社会で活かしていくことを願っています。

◇ご注意ください！

●本校では、インフルエンザA型はだいぶおさまってきましたが、新たな型での発症が危惧されています。乾燥、疲労、睡眠不足、ビタミン不足・・・危ないかな?と思ったら、早めの対応を。

●不審者の情報が近隣で数件入っています。情報を警察や市民センターに共有し、パトロールの強化をお願いしています。暗くなるのが早い時期です。できるだけ複数で早めに帰宅してください。

＜お知らせ＞

オンデマンド配信

藤沢市学校保健会第68回学校保健大会のご案内

【主催】 藤沢市学校保健会　藤沢市教育委員会

【後援】 藤沢市医師会　藤沢市歯科医師会　藤沢市薬剤師会

１．研究発表

藤沢市の学校給食における地産地消の取り組み

～つながり、ひろがり、つづけていくためにできること～

２．講演

演題 ：「朝起きられないのは病気かも・・・ 起立性調節障害の症状と学校や家庭における対応について」

講師 ： 田中 大介(たなか だいすけ)氏

【配信期間】 2025(令和7)年11月17日(月) ～ 2026(令和8)年1月19日(月)

ご報告が遅くなりましたが、10月1日(水)、佐藤敏郎氏による防災講演会「3.11を学びに変える」が実現しました。以前から、佐藤先生のお話を生徒、保護者、職員、地域の皆様とぜひ共有したいと切望していたので、開催できましたこととご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。参加できなかった方やもう一度聞きたいという方のために、遅ればせながら別紙でまとめを作成いたしました。できるだけ客観的にまとめられるように努めてみましたが、私なりの解釈もあるかもしれません。ご容赦ください。ご家庭でもぜひご一読いただき、共に考え、深めるきっかけにしていただければ幸いです。

本校生徒の感想

・本気で考えたい。
・今ある日常を大切にする。
・震災が起きる前から避難場所を考えておく、決めておく
・避難訓練は本気でやらなければいけない。
・家に帰ったら今回話してもらったことを家族に話す。

・避難用のバッグを準備しておく
・家族とどこに避難すればいいか話し合う
・言葉にすることで、(気持ちや考えを)整理する
・何も知らないことが一番怖いこと。防災についてもっと知りたい。
意識を高めることが必要。

・安全と言われている場所でも、情報をキャッチして次の避難場所を考えておかないといけない

・身の回りのものに興味をもっていきたい。建物や川、どのようなつくりなのか理解しておくことで、避難経路を考えたり、どこに避難するのが安全なのかを確認し広めたい。
・逃げる場所などを事前に確認して、自分の身は自分で守る。
・ほとんど話していないが、大事に思っている妹がいる。
　自分の妹をその立場において考えたら、心が苦しかった。
・自分の行動が命を守る
・災害を希望に変えることが防災

・防災について、恐怖で片付けるのではなく、希望での指導に切り替えるべきと言う意見に共感した。町がどんなに無残に破壊されても、生き延びさえすれば今の町より良くなっていくということに人の営みとかの美しさを感じたい。

・防災は自然と闘うのではなく、自然と関係を築く、ハッピーエンドのためのもの。今当たり前に生きている日常は 2011 年に 3 月 11 日に生きていたかった日常。いつ来るか分からない災害を最小限に抑えられるように自分から変えていきたい。

・”妹が亡くなる“これを自分の妹と重ねたとき、自分はどう感じるのだろうと本当に考えさせられ、同時に涙が出てきた。そして俳句の授業。悲しいし、苦しい。そんなときこそ、あえて言葉にする。自分はどうしたいのだろうと考えることで、次のステップに進めるのだと思った。

・実際、自分が 7/30 にカムチャツカの時も本当っにパニックになって「津波きたら終わりじゃね？」「どこ行けばいいの？」みたいな感じだったけれど、先生たちがいたおかげで（そのとき部活で学校にいた）安全に避難できたし何事もなく家に帰ることができたので、先生たちは「あのときの教訓を活かしてくれてたのかな？」と思っていた。「昔こんなのあったんだー」で終わりじゃなくて「これを活かしたら被害が減る」って「未来の自分」のためにいいことをしておきたい。

・私は 2012 年生まれでちょうど 3.11 を知らない世代です。なので、あまり「災害」に関心がありませんでした。今日のお話を聞いて、他人事ではないんだなと改めて気づかされました。救える命を次は救えるように。来ると分かってるものを侮らずに対策したいなと思いました。いつもの「ただいま」「おかえり」などの当たり前に感謝することを忘れないようにしようと思いました。

・「かわいそう」とか、「どうしようもなかった」で終わらせてはいけないと思ったし、避難が無事にできたけれどたくさんのものを失って生徒が書いた俳句には他とは違う、勇気をくれるようなものがあり、感動しました。

・「行動」という言葉が印象に残った。行動をしないとまず何も始まらない。でも、行動をするためには、逃げる場所や行き方も大事だからどんな災害がきても落ち着いて安全にみんなで避難ができるようにしたい。

皆さんの感想に力強さを感じます。「行動」できる人にまずは自分からなっていきましょう。 そして、感想の中に、質問がひとつありました。

▼前期の終業式で紹介したものです。

先生方に質問です。学校の訓練では 4 階に逃げておしまいになりますが、近くに山もあるのでそこに逃げる訓練をした方が良いとまではいいませんが、どのように逃げるのか必要な確認をした方が良いと思いますがどうでしょうか？

（集会で伝えた回答です。）

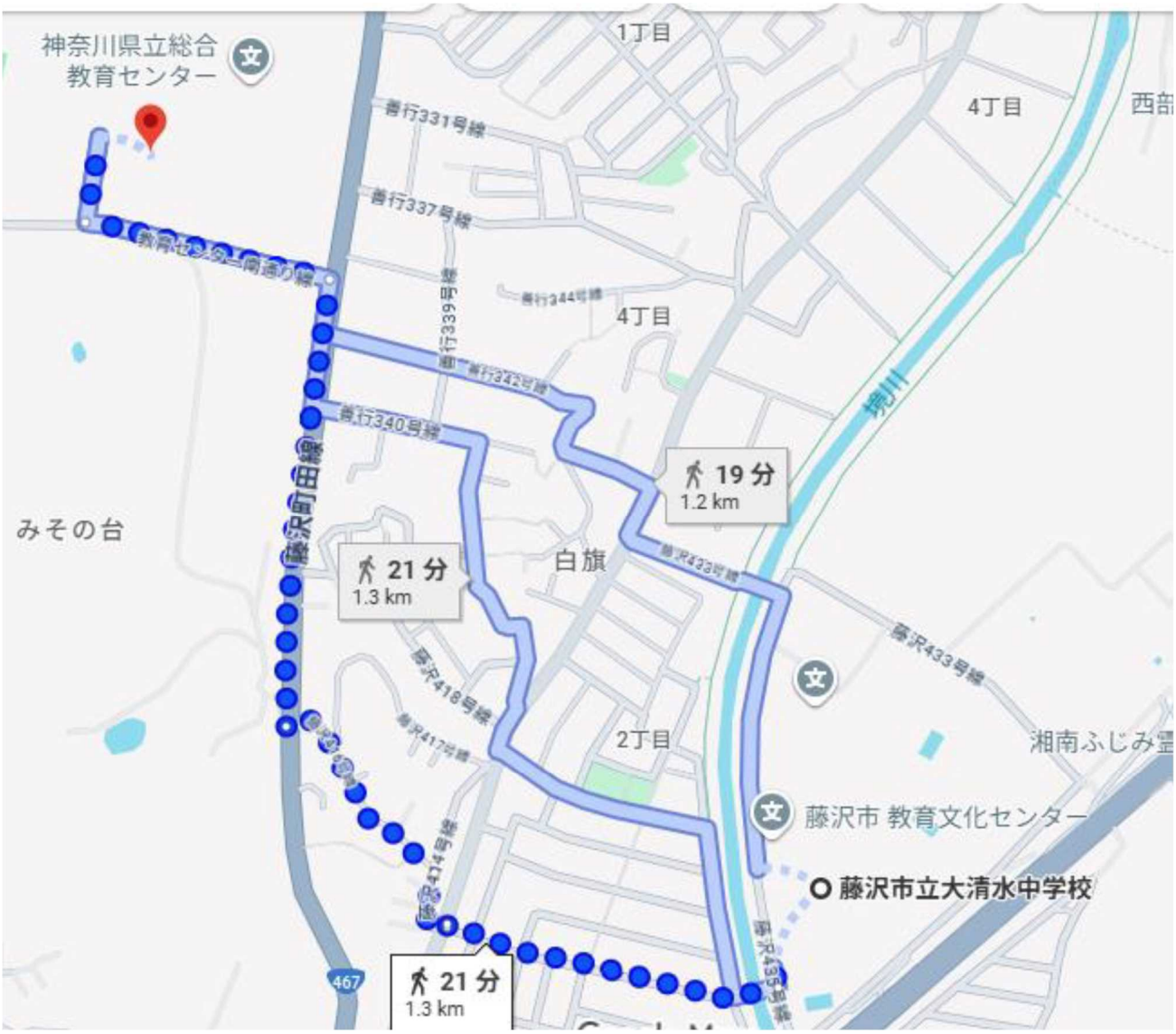
「本校の校舎は海岸から約５キロ、海抜13mのところに建っています。4 階建て、建物の高さは 15m 弱です。東日本大震災では、一番遠くまで届いた津波の浸水域が海岸から約 5 キロと言われています。おそらく、神奈川県に東日本大震災と同じ規模の地震がきても4階に上がることで、多くの命は守られると思っています。が、想定を超えてくるのが自然災害です。また、地震による津波だけでなく、大雨で川が氾濫することもあります。氾濫する前に川を越えておく必要もあります。

４月に配付した緑の紙「大地震（震度５弱以上）発生時の対応」には、災害の際に、「周囲の状況によって学校にいることが危険と判断したときは二次避難場所として、善行の県立スポーツセンターに職員引率のもと、全員避難する」ということになっています。しかし、どのように避難するか、までは決まっていませんでした。検討して皆さんにお伝えします。」

このように決まりました。生徒の皆さん、保護者の皆様、確認をお願いします。

大清水中→鷹匠橋→まっすぐ突き当たりまでいき、右折し道沿いに坂を上がる→みその歩道橋→県立スポーツセンター

自分事として考え、提案してくれた３年生、ありがとう!!



※地図中の県立総合教育センターは県立スポーツセンターと同じ場所にあるので、読み替えてください。

先日は、職員の安全管理部が他の先生方にも知らせない抜き打ち防災避難訓練（ショート）を昼休みに行いました。生徒の一人ひとりが本気で訓練に臨んでいる姿をとても頼もしく思いました。話を聞いて終わりでなく、行動する人になりましょう。自分も人も大切に。

良いお年をお迎えください。